

新初夏

初夏の自然はなんと言ってもとにかく豊かです。しかも自然のサイクルの中で最も賑やかな時期であるかも知れません。多くの動植物は活発で、自然観察のベストシーズンの中の一つではないでしょうか！

さあ、「新しい自然」を見つける時期です！！

春の目覚めと夏飛来の順

今年の4月末までに、初確認した中で代表的な生き物の記録を紹介します。

2月 9日 ヤマアカガエル産卵

20日 トウキョウサンショウウオ産卵

26日 ウグイス^{さえず}囀り

28日 ヒオドシチョウ

3月 8日 ヒレンジャク飛来

12日 ヒバリ囀り、モンキチョウ

15日 ルリシジミ

16日 ニホンカナヘビ、ベニシジミ

17日 ナミアゲハ

20日 アズマヒキガエル産卵、ヒガシニホントカゲ

21日 タゴガエル鳴き声

22日 アマガエル鳴き声、ミヤマセセリ

24日 ツバメ飛来、アカハライモリ

31日 カジカガエル鳴き声、キアゲハ
スジグロシロチョウ、コツバメ、ツバメシジミ



4月 4日 シュレーゲルアオガエル鳴き声、シオヤトンボ

5日 サシバ渡り

7日 シマヘビ、ジムグリ

10日 アマツバメ渡り、ムカシトンボ、トラフシジミ
ミヤマセセリ

11日 アオダイショウ、クロアゲハ、オナガアゲハ

14日 コサメビタキ囀り、トウキョウダルマガエル鳴き声

17日 ツツドリ囀り

18日 オオルリ&キビタキ&センダイムシクイ囀り、コムシジ

19日 ウスバシロチョウ

20日 コマドリ&クロツグミ囀り

21日 ツマグロヒョウモン

23日 セッカ&オオヨシキリ囀り、ヒメウラナミジャンメ
コジャンメ、ヤマサナエ、アオサナエ

などなどの記録です。

植物同様に、昆虫類の一部の出現は早かったようですが、意外と鳥類の飛来などは例年なみとなっています。

5月からまだ続きますよ！



パブロ レンジャーの 「鳥類情報局」

今年に入ってからの気候の急変や季節の移り変わりと共に、あきる野に立ち寄った冬鳥がいました。

たとえば2月中、13年間の調査記録においてあきる野市内では初確認となるツリスガラを1羽、秋川の河川敷のススキ原で目撃しました。また、3月からはヒレンジャクを確認しただけでなく、市の周辺ではキレンジャクと共に数多くの飛来情報がありました。

すっかり春の陽気に包まれた4月に入ると表ページに書いたような、たくさんの夏鳥が順調にあきる野に飛来し、既に繁殖の準備を迎えています。

ヒレンジャクの飛来



引き続き、「ロードキル防止」 キャンペーン実施中

令和2年から爬虫類や両生類などの「ロードキル防止看板」を設置し、動物に配慮していただくように注意喚起を行っています。

春から夏は、両生類の産卵期や爬虫類の活発な時期になるため林道や道路を横断したり、体温調節を行うなどの理由で出てきたところを、車などに轢かれてしまう事態が多くなります。

他にも、巣立ったばかりの野鳥の雛などの生き物もこのような影響を受けてしまい、その積み重ねで個体数が著しく減少する場合があります。

みなさん！日本の素敵な自然が豊かであり続けるためにも、ゆっくり運転をお願いしま〜す！



様々な生き物が犠牲になっています！

ヤマカガシ

ニホンリス

ルリビタキ

アカハライモリ

